

特集

ありがとう 鷹島分校
—56年の歴史に幕—

……2～4

まじら

Matsuura



4月号

2006

No.4

Contents

施政方針(要旨).....	5
平成18年度当初予算.....	6～8
第10回不老山花と光のフェスタ.....	9
インフォメーション.....	10～15
まちの話題.....	16～17
旬の ^{とき} 人.....	18
保健・年金.....	24
リレーエッセー.....	26

自然の家
個性あふ
るまじら
のあふ
るまじら
のあふ
るまじら



特集
ありがとう 鷹島分校
—56年の歴史に幕—

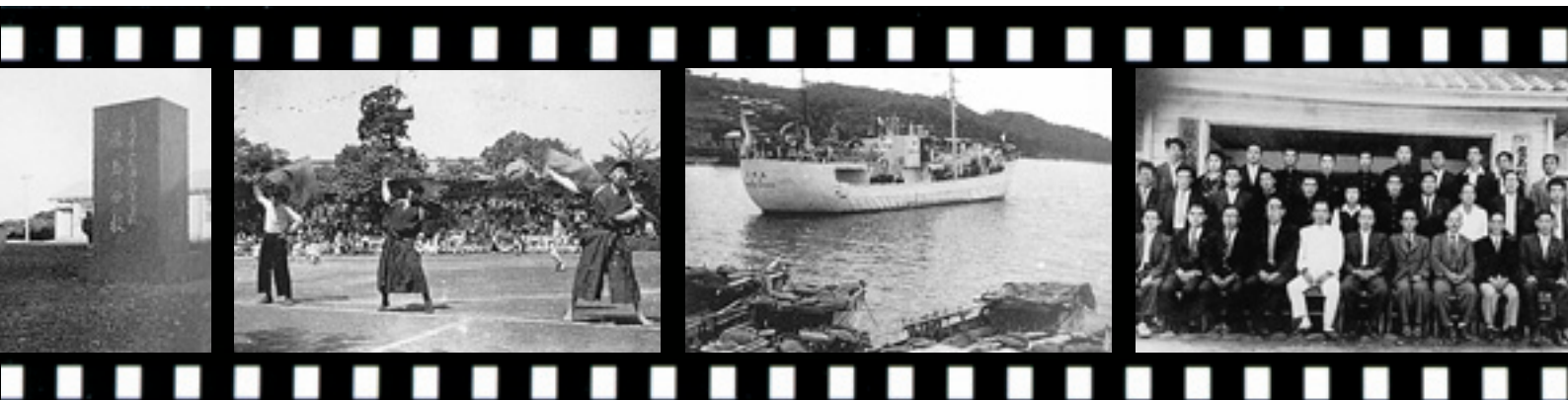
県立松浦高校鷹島分校が平成18年3月で閉校となり、56年の歴史に幕を閉じました。

今月号では、鷹島分校でのこれまでの写真や、3月4日に行われた「閉校記念式典」、最後の「卒業証書授与式」の様子などを紹介します。

鷹島分校のあゆみ

- 昭和25年6月8日
 ・ 県立長崎水産高等学校鷹島分校・夜間定時制開校
- 昭和30年4月1日
 ・ 県立猶興館高等学校鷹島分校と改称
- 昭和39年4月1日
 ・ 普通課程の生徒募集
- 昭和44年4月1日
 ・ 全日制に切替発足
- 昭和50年代前半
 ・ 県立松浦高等学校鷹島分校と改称
- 平成16年4月1日
 ・ 全校生徒数が300人を超える
- 平成18年3月4日
 ・ 新入生の募集を停止
- 平成18年3月4日
 ・ 閉校記念式典開催

鷹島分校 思い出アルバム



周年記念 (昭和46年)

運動会 (昭和29年度卒業生)

長崎水産高校練習船「長水丸」阿翁浦に入港 (昭和29年)

長崎水産高校第1回卒業式 (昭和28年度卒業生)

2千2百人を送り出した鷹島分校 閉校記念式典で別れを惜しむ

鷹島分校は、昭和25年に県立長崎水産高校鷹島分校として開校後、2度の移管を経て、松浦高校鷹島分校となりました。56年間の卒業生は延べ2,202人。ピーク時には、佐賀県からも多くの生徒が通学し、全校生徒は300人を超えていました。

3月4日の閉校記念式典では、本年度卒業生が代表して、立石眺^{たかし}県教育長に校旗を返還。そして、閉校事業推進委員長の市原義光同窓会長が在学中の思い出を交えたあいさつをしました。記念碑除幕式では、同窓生、旧教職員、地元の有志らで作られた記念碑が披露されました。式典に出席した同窓生や旧教職員、地元住民ら約220人が最後の校歌を会場の体育館いっばいに響かせ、56年の歴史に幕を閉じました。



本年度卒業生の若松君が校旗を返還



市原同窓会長があいさつ



記念碑の除幕の様子



校歌を斉唱する出席者

※写真は同校提供

鷹島分校 思い出アルバム



航空写真人文字（昭和49年）



肥前町からの通学生（昭和46年度）



相撲部（昭和41年度）



創立20
「門柱」建立

思い出を胸に新たな旅立ち

分校最後は5人の卒業生

開校以来、2、197人の生徒を送り出した鷹島分校。

3月4日には、最後の卒業生の卒業証書授与式が行われました。

最後の卒業生となったのは、若松鷹治君、大石志穂さん、柳満子さん、山本千春さん、渡邊いつみさんの5人。

式では、卒業生5人が青崎孔校長からそれぞれ卒業証書を受け取りました。在校生がいない5人への送辞は、担任と副担任の3人から。答辞は卒業生5人が壇上に入り、それぞれの思いを涙ながらに述べました。

この日は、本校の吹奏楽部も出席し、校歌等を演奏。その演奏にあわせ校歌を斉唱しました。式が終わると、出席者約220人は、新たな旅立ちに向かう5人を、たくさんのお手で送り出しました。



送辞を述べる副担任の教諭

卒業生からひとこと

若松鷹治君（阿翁浦、写真右）

3年間とても楽しかったです！2年間富山県で漁師の研修を受けた後、鷹島町で漁師をします。

大石志穂さん（中通、写真後列中央）

充実した3年間でした。少人数でも力を合わせてなんでもできたことが自信につながりました。

柳 満子さん（阿翁、写真後列左）

高校生活が楽しくて、人と

話すことが大好きになりました。今後は接客の仕事につきたいです。

山本千春さん（三里、写真前列右）

同級生からたくさんのお思い出をもらいました。大村市の看護学校に働きながら通います。

渡邊いつみさん（唐津市、写真前列左）

3年間でおくさんの思い出ができました。今後は鷹島の石工業社で働きます。



閉校記念誌と

DVDを制作

鷹島分校の歴史を後世に残そうと閉校記念誌とDVDを制作しました。

閉校記念誌

分校の職員で制作。惜別の辞や旧職員や同窓生の寄稿、思い出のアルバム、学校の沿革などが掲載されています。A4版、全71ページ。



DVD

「さようなら 鷹島分校」

分校最後の卒業生5人と職員で制作。鷹島や分校の歴史紹介、初代卒業生の講話や、鷹島で働く同窓生、分校の恩師を訪ねてうかがった話などが収録されています。40分。



3つの柱で 新市の基礎づくりを

松浦市長
友広 郁洋

これからの4年間を、新市の基礎づくりを行う期間と位置づけ、2万8千市民の融和と地域の一体感の醸成に努めるとともに、新市建設計画の具現化に取り組み、次に挙げる3つの柱に沿って、信頼され、期待される市政運営に努めてまいります。

【役所改革】

簡素で効率的な行政運営を進めるための組織機構の見直し、職員定数並びに給与の削減、内部管理費の節減などに取り組み、市民皆様から信頼を得られるような市役所へと改革を進めてまいります。

【官民一体のまちづくり】

官民を問わず幅広く知恵を集め、施策に反映させる体制づくりの前提として、徹底した情報公開により市民皆様との情報の共有を推進し、説明責任の徹底を図ってまいります。また、地域審議会をはじめ、市民皆様から幅広く意見を伺いながら、それぞれの地域の個性を活かしたまちづくりを進めてまいります。

【支援体制の構築】

今後一層激しくなる地域間競争を勝ち抜くには、自治体としての基礎体力をつけなければなりません。自立の過程において、国や県からの支援が不可欠であり、良好な信頼関係を築くべく努力してまいります。また、近隣自治体との相互支援体制の構築を図ってまいります。

平成18年度 事業方針

【行政改革大綱、総合計画の策定】

住民サービスを維持しつつ、簡素で効率的な行政運営を進めるために、行政改革大綱を策定します。新市建設計画の具現化を図るために、総合計画の策定に着手します。

【産業の振興】

（農業）集落リーダーの育成および集落営農組織の設立に取り組み、農業および農村の活性化を図ります。

（水産業）魚場造成、栽培漁業ならびに資源管理型漁業、担い手対策、販売・流通対策などに取り組みます。

（商工業）企業誘致に向けた取り組みを強化するとともに、商工関係団体と連携を図りながら、地域産業の活性化を進めます。

（観光）広域観光ルートの開拓、グルメ観光の開発および推進等とあわせ、体験型観光事業を積極的に支援し、

交流人口の拡大に努めます。
【保健行政、福祉行政の推進】

市の健康づくり計画である新たな「いきいき松浦21」の策定に取り組みます。

第3期介護保険事業計画を策定し、事業を推進します。また、地域包括支援センターを設置し、介護予防に努めます。

国民健康保険事業、老人保健事業の運営は、医療費の抑制対策等を積極的に講じ、健全な運営に努めます。

松浦市民病院の外科医師の確保に全力で取り組みます。

【教育行政の推進】

教育施設の整備、地域文化の振興、伝承文化の継承・発展、スポーツの振興をめざします。

【生活環境行政の推進】

生活環境負荷の低減に向けた事業の推進とあわせ、環境問題に対する市民の意識啓発に努めます。

【水道事業、下水道事業の推進】

安全で安心して飲める水

の安定供給に努めます。また、平成19年度末の供用開始に向け、公共下水道事業の整備を行うとともに、受益者負担金および下水道料金の検討を進めます。

【都市基盤の整備】

西九州自動車道は、国や県の関係機関と連携を図りつつ、早期完成に努めます。また、地方道路は、緊急性、公平性及び事業効果を考慮しながら整備を進めます。

【常設市民相談室の設置】

常設の市民相談室を設置し、各種相談業務を実施します。また、長崎労働局と共同で設置する地域職業相談室も併設し、市民の求職活動における利便性の向上を図ります。

【九州電力松浦発電所2号機問題】

九州電力から地域振興対策事業への資金協力が決定しています。市議会ははじめから、地域振興のために有効に活用したいと考えています。

一般会計は138億400万円

平成18年度当初予算

平成18年度の当初予算概要をお知らせします。

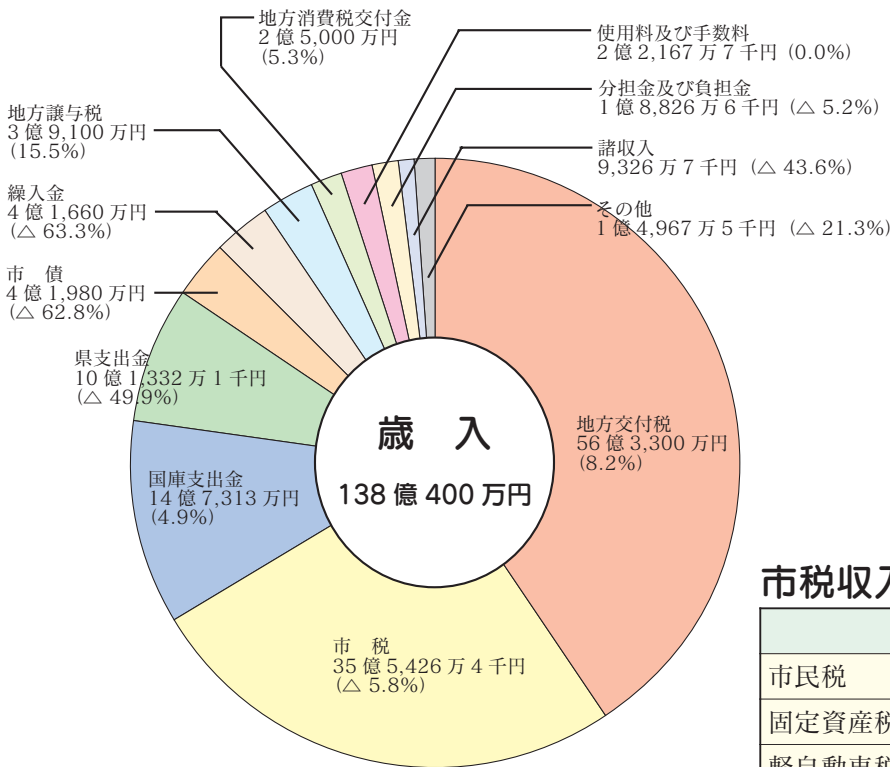
平成18年度の当初予算は、政策的経費（普通建設事業費などの臨時的経費）を極力抑え、義務的経費（人件費、扶助費、公債費）を中心に編成した予算（骨格予算）となっています。

一般会計は138億400万円で、前年度当初予算と比べ、22億1607万円（13・8パーセント）の減少となっています。

なお、今回の予算は合併次年度ということもあり、対前年度の数値は旧1市2町（松浦市、福島町、鷹島町）の平成17年度当初予算額を合計した数値と比較しています。



オーストラリア・マッカイ市民との交流の様子



市税収入の内訳

(単位：千円、%)

	18年度予算	伸び率
市民税	721,560	0.9
固定資産税	2,623,634	△ 7.9
軽自動車税	55,923	2.8
市たばこ税	151,620	△ 1.9
都市計画税	201	0.0
入湯税	1,326	△ 13.7
合計	3,554,264	△ 5.8

※伸び率は17年度当初予算額との比較

() は 17 年度当初予算額と比較した伸び率

一般会計

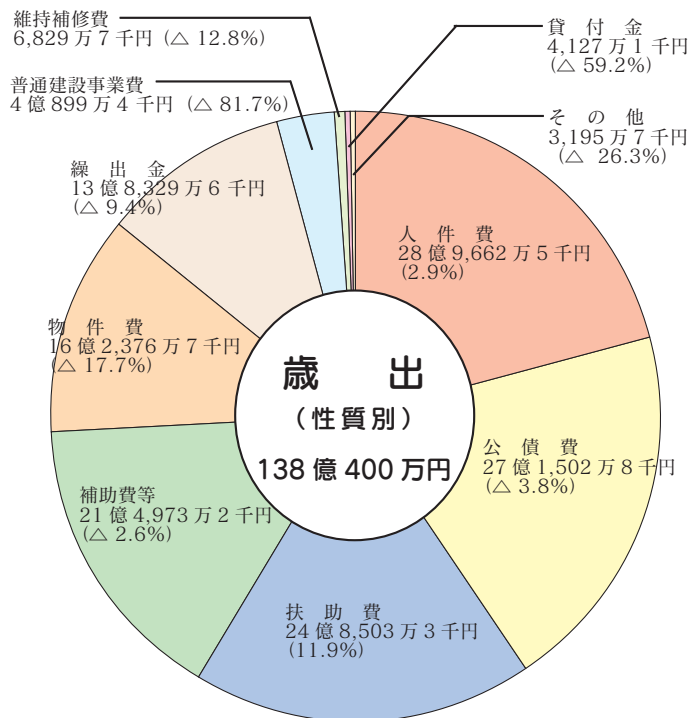
【歳入】

歳入の内訳では、地方交付税56億3300万円（8・2%増）、市税が35億5426万4千円（5・8%減）、国庫支出金（4・9%増）、県支出金（49・9%減）市債（62・8%減）の順となっています。市税収入が減少したのは、火力発電所の固定資産税（償却資産分）の減少が主な要因です。国庫支出金の増加は、生活保護費負担金の増加が主な要因です。

また、県支出金の減少は、地域水産物供給基盤整備事業補助金の減少が主な要因になっています。さらに本年度は、収入不足を補うため、財政調整基金を1億円取り崩す予算を計上しています。

【歳出】

歳出の内訳（性質別）では、人件費28億9662万5千円（2・9%増）、公債費27億1502万8千円（3・8%減）、扶助費24億8503万3千円（11・9%増）、補助費等21億4973万2千円（2・6%減）物件費16億2376万7千円（17・7%減）の順となっています。



() は17年度当初予算額と比較した伸び率

特別会計・企業会計

特別会計では、土地区画整理事業が平成17年度に引き続き平成18年度は換地を実施します。また企業会計では下水道事業が、終末処理場の用地購入および建設工事に着手する予定です。また、下水道管約4キロの敷設工事を予定しています。

人件費の増加は長崎県市町村総合事務組合の退職手当事業加入に伴う負担金によるものです。扶助費の増加の主な要因は、旧福島町、旧鷹島町に係る生活保護の決定と実施に関する事務を、平成17年度までは県北福祉事務所で行っていましたが、合併により松浦市で行うためです。

歳出（目的別）

(単位：千円、%)

予算科目	18年度予算	構成比	伸び率
民生費	4,219,513	30.6	3.2
公債費	2,715,028	19.7	△3.8
総務費	1,897,577	13.7	△4.7
衛生費	1,408,589	10.2	△0.9
農林水産業費	1,172,432	8.5	△49.7
教育費	891,732	6.5	△14.0
消防費	549,141	4.0	△6.3
土木費	469,395	3.4	△57.8
商工費	215,051	1.6	△17.0
議会費	171,345	1.2	△41.0
その他	94,197	0.6	16.4
歳出合計	13,804,000	100.0	△13.8

※伸び率は17年度当初予算額との比較

【用語の説明】

- ◆ **骨格予算**：地方公共団体の長や議員の選挙時期などの関係から、政策的な判断ができてにくいなどの理由により、人件費など必要最小限度の経費を計上する予算。
- ◆ **扶助費**：生活保護法、児童福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法などの法令に基づいて支出する経費。また、地方自治体独自の支出も含まれる。
- ◆ **公債費**：各種事業を行うために借り入れたお金を返済する経費。
- ◆ **市債**：各種事業を行うために借り入れるお金など。
- ◆ **財政調整基金**：年度間の財源の不均衡を調整するための積立金（貯金）。

主な事業

- 地域審議会開催費（委員報酬、旅費） 110万円
- 人材育成事業費補助金（マツカイ市との青少年海外交流事業など） 429万円
- 高齢者通院航送料助成費（飛鳥地区、黒島地区） 80万円
- 総合健診事業（基本健診、がん検診、骨粗鬆症健診など） 5200万円
- 合併処理浄化槽設置整備事業補助金 1539万円
- 資源物回収活動奨励補助金 602万円
- 家庭用生ごみ処理機器購入費補助金 150万円
- 火葬場使用料補助金（旧鷹島町民が火葬場（松浦斎苑、肥前斎場）を使用する場合に助成） 170万円
- 北松北部環境組合負担金 4億7789万円
- 漁港建設事業 1億円
- 地域水産物供給基盤整備事業 2億1500万円
- 松浦体験型旅行事業費補助金 1300万円
- 外国語指導助手報酬 1540万円
- 埋蔵文化財（海底遺跡）探査事業（潜水調査、海底遺跡探査、出土品保存処理） 1885万円

特別会計

（単位：千円、％）

会計名称	18年度予算	伸び率	備考
青島出張診療所事業	44,674	3.2	松浦
土地区画整理事業	156,178	0.7	松浦
鉱害復旧灌漑用水施設維持管理事業	18,419	83.6	福島
国民健康保険	3,141,403	6.5	松浦、福島、鷹島
老人保健	3,772,500	△4.5	松浦、福島、鷹島
介護保険	2,246,282	2.0	松浦、福島、鷹島
簡易水道事業	472,955	3.6	松浦、福島、鷹島
福島診療所事業	266,529	△6.7	福島
鷹島診療所事業	189,900	皆増	鷹島
下水道事業	329,203	△20.1	福島、鷹島
松浦魚市場	110,339	△4.5	松浦
臨海土地造成事業	154,184	304.3	松浦

※伸び率は17年度当初予算額との比較
備考欄の団体名は、平成17年度予算を計上していた旧市町名
鷹島診療所事業については、合併に伴い特別会計を設置したため皆増

企業会計

（単位：千円、％）

会計名称	18年度予算	伸び率	備考
水道事業	収益的収入	354,935	△7.5
	収益的支出	379,369	△0.6
	資本的収入	19,314	△95.6
	資本的支出	129,464	△79.7
工業用水道事業	収益的収入	165,574	0.0
	収益的支出	157,721	△31.5
	資本的収入	1	0.0
	資本的支出	1	△99.9
病院事業	収益的収入	778,701	△0.2
	収益的支出	920,112	△2.4
	資本的収入	33,321	3.7
	資本的支出	57,227	3.2
下水道事業	資本的収入	338,028	△71.1
	資本的支出	362,202	△68.6
交通事業	収益的収入	46,081	17.4
	収益的支出	46,081	17.4
	資本的収入	7,590	皆増
	資本的支出	7,590	93.3

※伸び率は17年度当初予算額との比較
備考欄の団体名は、平成17年度予算を計上していた旧市町名

松浦市民1人当たりの予算と市債残高

一般会計当初予算を松浦市民1人当たり（18年3月1日の住民基本台帳人口27,758人）で見ると次の表のようになっています。総額は49万7,298円となり、17年度と比べ7万9,835円少なくなっています。

また18年度末現在の市債（各種事業を行うために借り入れたお金など）の残高見込額は201億9,018万5千円となり、1人当たりになると72万7,365円となります。17年度末見込額（224億6,807万4千円）と比べると8万2,062円少なくなっています。

人口1人当たりの歳入歳出

歳入	17年度	18年度
市税	135,947円	128,045円
地方交付税	187,468	202,933
国庫支出金	50,585	53,070
市債	40,659	15,124
県支出金	72,806	36,506
繰入金	40,946	15,008
地方消費税交付金	8,549	9,006
地方譲与税	12,190	14,086
諸収入	5,994	3,360
使用料及び手数料	7,469	7,986
分担金及び負担金	7,672	6,782
その他	6,848	5,392
合計	577,133	497,298

歳出	17年度	18年度
人件費	101,457円	104,353円
扶助費	80,000	89,525
公債費	101,667	97,811
物件費	71,078	58,497
補助費等	79,548	77,446
普通建設事業費	80,363	14,734
繰出金	54,998	49,834
貸付金	3,640	1,487
維持補修費	2,821	2,460
その他	1,561	1,151
合計	577,133	497,298

※人口は、平成18年3月1日の住民基本台帳人口27,758人を用いています。

第10回不老山花と光のフェスタ

期 間 4月15日(土)～30日(日)

イベント日 4月22日(土)、23日(日)

※4月22日が雨天の場合は4月29日(土)に、4月23日(日)が雨天の場合は4月30日(日)に延期

22日
(土)

グラウンドゴルフ大会 (グラウンドゴルフ協会主催)

○申込・問合せ先 グラウンドゴルフ協会 会長 池野泰三 ☎ 0956 - 75 - 0665

○申込締切 4月14日(金)

23日
(日)

【イベント】

豪華賞品をゲットしよう

ウォークラリー大会、スケッチ大会、大抽選会、
輪投げ・ストラックアウト、薬草ハイキング
出店、ぜんざい・お茶無料配布

※イベント当日(4/23)は、不老山総合公園駐車場での車両整理協力金として一台につき500円いただくことになりました。当日は、大変混み合いますので、できるだけ無料シャトルバスをご利用ください(例年より台数を増やしています)。

○文化会館↔不老山総合公園 ○市役所↔不老山総合公園
○松浦駅↔不老山総合公園

●問合せ先 まつり実行委員会(市商工観光課内)

【ステージプログラム】

時間	プログラム
10:30～10:50	松浦龍王太鼓
10:50～11:10	元寇太鼓(鷹島)
11:10～12:00	YOSAKOIダンス
12:00～12:30	松浦ウインドオーケストラ
12:30～13:10	川平兄弟(バンド演奏)
13:10～13:30	玄蕃太鼓(福島)
13:30～14:10	VSOB+鼓響(バンド演奏)
14:10～15:00	YOSAKOIダンス
15:10～15:40	大抽選会

<YOSAKOIダンス出演順>

- ①松浦海舞人
- ②鷹島よさこい踊鷹
- ③伊万里蟒醉人
- ④西風舞人
- ⑤ふくしま咲爛舞隊
- ⑥風神社中
- ⑦松浦こいから隊



市議会の正副議長、

委員会構成が決まりました

正副議長、委員会構成などを決める臨時市議会が2月21日に開かれ、議長には小松千秋議員が、副議長には椎山賢治議員が決定しました。また、委員会構成は下表のとおりです。

就任のごあいさつ

市民の皆様には、平素から格別なるご理解とご協力を賜っておりますことに対し、心から感謝申し上げます。

このたび、私たちは平成18年2月21日の市議会臨時会におきまして、議長、副議長に選出され、同日付けで就任いたしました。

さて、わが国の経済も長かった不況から抜け出しつつあり、景気も徐々に上向き傾向になっている感がありますが、新生松浦市を取り巻く状況は三位一体改革による補助金・交付金の削減や市税の大幅減収などにより非常に厳しいものがございます。

また一方では、1市2町の合併により行財政改革をはじめ多くの諸問題が山積しており、その責務の重大さを痛感いたしております。

市民皆様より負託を受けた私たち新議員20名は、議員一丸となって新生松浦市の伸展と市民福祉の向上のため専心努力してまいりたいと考えております。私たちは、もとより浅学非才ではありますが、円滑な議会運営に努め、行政と連携し市勢発展に全力を尽くす所存でありますので、市民各位のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



小松千秋議長



椎山賢治副議長

常任委員会・議会運営委員会の構成

委員会名	人員	委員長	副委員長	委員	
常任委員会	総務委員会	7	松下 英俊	尾野 一男	高橋 勝幸 椎山 賢治 友田 吉泰 小松 千秋 吉富 武志
	文教厚生委員会	7	金内 武久	下久保 直人	山口 芳正 鈴立 靖幸 白石 光一郎 寺澤 優國 竹本伸太郎
	産業経済委員会	6	久枝 邦彦	木原 勇一	吉原 順穂 板谷 國博 中塚 祐介 志水 正司
議会運営委員会	6	中塚 祐介	志水 正司	白石 光一郎 金内 武久 吉原 順穂 尾野 一男	

2月市議会臨時会

平成18年2月市議会臨時会が2月21日、22日に開催されました。可決された主な議案は次のとおりです。

▼松浦市教育委員会委員の任命

武部周清氏（今福・北東1）
松浦寛雄氏（福島・原）
小田嘉和氏（鷹島・船唐津）
瀬戸口タズ子氏（志佐・里1）
宮本勝行氏（今福・仲町）

▼固定資産評価審査委員会委員の選任

三浦 清氏（御厨・大崎下）
大坪鐵男氏（今福・人柱）
浦上文雄氏（志佐・稗木場）
濱本正敏氏（福島・鍋串）
前田忠一氏（鷹島・中通）

第1回市議会定例会

平成18年第1回市議会定例会が3月8日から29日までの22日間で開催されました。

今議会では、平成18年度当初予算（6ページ8ページ）をはじめ、55件の議案などについて審議が行われました。可決された主な議案は次のとおりです。

▼松浦市長の給与の特例に関する条例の制定について

市長の給料の月額を、在任期間中、20%削減するものです。

▼松浦市介護保険条例の一部改正について

介護保険事業計画の見直しにより、保険料率の改定を行うものです。

市役所からの お知らせ

生コンを支給しています

住みやすい住環境整備のため、生活道路の舗装に対して生コンクリートを支給しています。舗装計画のある人は、市政嘱託員を通じて申請してください。

対象となる生活道路は4戸以上が利用する延長30メートル以上、幅員1メートル以上の生活道路。生コンの支給率も市が舗装に必要と認めた生コンの量の7

割 申請期限は7月31日(月) 申請
手続・問合せ先は建設課管理係
**4月から離職者相談窓口
を開設します**

平成17年度に引き続き、平成18年度も離職者の求職活動を支援するため、離職者相談窓口を開設します。専門のキャリアカウンセラーが再就職に関する様々な相談に応じますので、気軽にご利用ください。予約をした人を優先しますので、できるだけ予約をお願いします。
日時 毎月第1・第3水曜日 午前10時～午後4時
場所 市役所別館

教育長 就任のごあいさつ



宮本 勝行

私、このたび新松浦市の教育長という大役を拝命いたしました。「次代の地域づくりを担う人材の育成と個性を生かす地域文化の醸成」という教育の使命に身の引き締まる思いです。

今日、激しい社会の変化に対応する教育のあり方が求められている中、学校・家庭・地域が一体となり「大人が学び、大人が手本となる」教育を基本にすえ、「教育のまち松浦」をつくるために微力ながら全力を傾注する所存です。どうか皆さまのご指導、ご鞭撻をなにとぞよろしくお願いいたします。

会議室 問合せ先は商工観光課 予約先は長崎県再就職支援センター(佐世保) 0956-24-1090

伊万里釜釜地区に「放送設備」が完成

宝くじ普及広報事業の一環として行われているコミュニティ助成事業により、福島町の伊万里釜釜地区に「放送設備」が整備されました。これから地区内で行われる活動や諸行事等の周知に役立てられます。



問合せ先は福島支所総務管理課

固定資産税縦覧帳簿の縦覧

平成18年度固定資産税縦覧帳簿の縦覧を4月3日から行います。

縦覧とは、固定資産税の納税者が、他の土地や家屋と比較して価格が適正であるかどうかを確認するための制度で、無料で縦覧できます。詳しくは市報3月号をご覧ください。

なお、平成18年度固定資産税の第一期納期限は評価替の年により、5月31日となっています。

縦覧期間は4月3日(月)～5月31日(水)(ただし、土・日・祝日を除きます) 縦覧場所は税務課、福島支所、鷹島支所 問合せ先は税務課固定資産税係

行政相談所を開設します

市役所や国、県などの機関が行っている仕事について、意見や苦情、要望などはありませんか。次のとおり行政相談所を開設しますので、気軽にご相談ください。

日時 4月13日(木) 午前10時～午後4時
場所 市役所別館会議室
行政相談委員(敬称略) 川畑喜久雄 0956-75-0724 青木サチ 0956-74-0456
問合せ先 総務課行政係

上志佐診療所の診療曜日・時間が変わりました

医師体制の都合により、4月から上志佐診療所の診療曜日・時間が変わりました。市民の皆さんにはたいへんご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

診療曜日 毎週月曜日・木曜日
診療時間 午後2時～午後5時
受付時間 午前8時30分～午後4時
問合せ先 市民病院 0956-72-2166

市営住宅入居者募集！

- 募集方法** 市営住宅に入所を希望する人は、希望団地に空家があっても申し込みをしてください。公募期間内に申し込まないと空家が生じても入居することはできません。
 - 入居資格者** 住宅に困っている人で、次の条件に合う人
 - ・市税の滞納がないこと
 - ・1年間の総収入が、公営住宅法で定める収入基準に該当する人
 - 申込方法** 都市計画課住宅係または各支所に用意している「公営住宅入居申込書」に次の書類を添付し、申込受付期間内に都市計画課住宅係または各支所に申し込んでください。
- 〈添付書類〉
- ・所得証明書（給与所得者は事業主発行の源泉徴収票）
 - ・住民票謄本
 - ・納税証明書（市町村発行）
 - ・保証人の委任状（納税証明書交付用）
 - ・婚姻予定の人は、婚約証明書
- ※なお、入居申込書の連帯保証人は、市内に住所を有し申込者と同等以上の収入があり、市税を滞納していない人2人とします
- 受付期間** 4月14日（金）～28日（金）
 - 問合せ先** 都市計画課住宅係

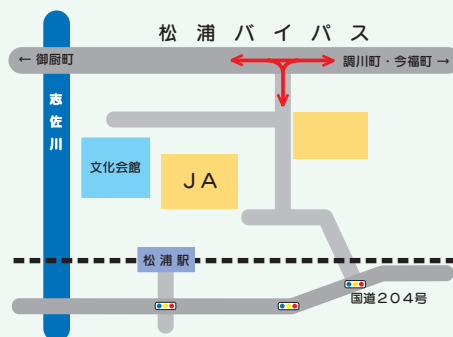
4月1日から 松浦バイパスの通行料が 無料になります

「有料道路松浦バイパス」が一般道路になるに伴い、4月1日（土）から通行料が無料になります。

また、これまで通行できなかった「文化会館方面」への通り抜けができるようになりますので、あわせてご利用ください。

※通行の際は交通安全に気をつけてください。

- 問合せ先** 都市計画課



犬などのペットを飼っている人へ

◆犬の放し飼いは

松浦市犬取締条例で禁止されています！

放し飼いは絶対にしないでください。

「近所の方が犬の放し飼いをして困っている」という苦情が多く寄せられています。歩行者を追いかけたり、かみついたりする事故も起こっています。飼い主が大丈夫と思っても、周囲の人は困っています。

また、放し飼いの飼い犬が野犬に病気をうつされたり、野犬と一緒に捕獲されるケースも増えていきます。

◆飼い犬のフンの後始末は

飼い主が責任をもって！

犬のフンの放置をしないでください。

特に、河川道路や公園などでフンの放置が多く見られます。飼い犬が散歩の途中にフンをした場合は、飼い主が責任をもって持ち帰り、処理してください。

注意 放し飼い、犬のフンの放置は市犬取締条例で禁止されています！糞などでの係留、散歩時のフン

の回収を徹底してください。悪質な行為を発見した場合には、市条例にしたがって飼い主に措置命令を行い、命令にしたがわない場合には罰金を課すこともありますので、犬の飼い方には十分ご注意ください。

◆野犬、野良猫に餌だけ与えている人へ

野犬・野良猫にエサを与えることはやめてください。

近隣の野犬等の数を増やす行為ですので、犬を飼っている家は野犬などに犬の餌を取られないように気を付けてください。野犬はエサを定期的にもらうと、近隣に居着くようになります。

犬同様に野良猫にえさを与えている場合の苦情も寄せられています。近隣にふん尿などで被害をこうむっている人もいますので、野良猫への餌やりもやめてください。

○問合せ先

市民生活課、福島・鷹島支所市民福祉課

狂犬病予防注射の集団接種を行います

狂犬病予防注射は年1回接種することが定められています。市では毎年4月に、市内各個所で集団予防注射を実施しています。今年も下記の日程で実施しますので、都合のよい会場で注射を受けるようにしてください。なお、混雑が予想されますので、手数料は釣り銭がいらぬようにお願いします。

○予防注射の際に必要なもの

- ・登録済の犬 登録犬証明書（送付したはがき）・問診表
手数料 = 1頭につき 3,050 円（注射 2,500 円 + 注射済票 550 円）
- ・未登録の犬 手数料 = 1頭につき 6,050 円（登録 3,000 円 + 注射 2,500 円 + 注射済票 550 円）

平成 18 年度犬の登録・狂犬病予防注射の実施日程

4月17日(月)	
場所	時間
北久保公民館	9:30 ~ 10:00
下田公民館	10:15 ~ 10:35
大石公民館	10:45 ~ 11:00
星鹿老人憩いの家	11:10 ~ 11:25
市場公民館	11:35 ~ 11:55
御厨公民館	13:30 ~ 13:55
前田公民館	14:05 ~ 14:20
大崎上公民館	14:30 ~ 14:45
小船公民館	14:55 ~ 15:10
川内公民館	15:20 ~ 15:35
西木場公民館	15:45 ~ 16:20
4月18日(火)	
場所	時間
中野公民館	9:30 ~ 9:50
寺ノ尾中公民館	9:55 ~ 10:10
寺ノ尾上公民館	10:15 ~ 10:30
御厨木場公民館	10:35 ~ 10:50
田代公民館	10:55 ~ 11:10
板橋公民館	11:15 ~ 11:30
郭公尾公民館	11:40 ~ 12:00
西山公民館	13:30 ~ 13:50
白浜公民館	14:00 ~ 14:20
市民病院前	14:20 ~ 14:55
庄野公民館	15:05 ~ 15:20
栢木公民館	15:30 ~ 15:50
4月19日(水)	
場所	時間
下高野公民館	9:30 ~ 10:00
上高野公民館	10:15 ~ 10:35
赤木公民館	10:45 ~ 11:00
横辺田公民館	11:10 ~ 11:25
田ノ平公民館	11:35 ~ 11:55
稗木場公民館	13:30 ~ 13:55
長野公民館	14:05 ~ 14:20
上志佐コミセン	14:30 ~ 14:45
池成公民館	14:55 ~ 15:10
里公民館	15:20 ~ 15:35

4月20日(木)	
場所	時間
雇尾バス停	9:30 ~ 9:45
仏坂公民館	10:00 ~ 10:15
坂野公民館	10:25 ~ 10:40
今福木場公民館	10:50 ~ 11:05
寺上公民館	11:15 ~ 11:30
今福公民館	11:45 ~ 12:10
江迎公民館	13:30 ~ 13:50
滑栄公民館	14:05 ~ 14:20
土肥ノ浦公民館	14:35 ~ 14:50
浜ノ脇公民館	15:00 ~ 15:15
人柱神社前	15:25 ~ 15:40
福德広場前	15:45 ~ 16:00
4月21日(金)	
場所	時間
J A 調川支所横	9:30 ~ 9:45
前浜バス停前	10:00 ~ 10:15
平尾公民館	10:25 ~ 10:40
上平尾公民館	10:50 ~ 11:05
中免公民館	11:15 ~ 11:30
下免公民館	11:45 ~ 12:10
上免公民館	13:30 ~ 13:50
白井公民館	14:05 ~ 14:20
松山田公民館	14:35 ~ 14:50
大平公民館	15:00 ~ 15:15
調川公民館	15:25 ~ 15:40
旧NTT松浦営業所	15:45 ~ 16:00
4月25日(火)	
場所	時間
三里公民館	10:10 ~ 10:30
原公民館	10:35 ~ 10:40
神崎公民館	10:50 ~ 10:55
日比公民館	11:05 ~ 11:10
阿翁公民館	11:20 ~ 11:35
阿翁浦公民館	11:45 ~ 12:05
鷹島支所前	12:20 ~ 12:50

4月26日(水)	
場所	時間
伊万里釜会館	9:00 ~ 9:25
播磨釜集会所	9:30 ~ 9:45
福崎会館	9:50 ~ 10:15
平野地区集会所	10:20 ~ 10:30
浅谷集落センター	10:40 ~ 11:00
徳義バス停前	11:05 ~ 11:10
土谷公民館	11:15 ~ 11:30
原消防格納庫	11:35 ~ 11:50
鍋串公民館	13:00 ~ 13:15
里公民館入口	13:25 ~ 13:45
大山公民館	13:55 ~ 14:05
祝崎バス停前	14:10 ~ 14:20
白土公民館	14:25 ~ 14:35
初ノ浦旧消防車庫前	14:40 ~ 14:50
喜内瀬旧消防車庫前	14:55 ~ 15:05
東平集落センター	15:15 ~ 15:25
福島体育館前	15:30 ~ 15:45
福島支所前駐車場	15:50 ~ 16:05



○問合せ先 市民生活課、福島・鷹島支所市民福祉課



その他のお知らせ

生ごみの分別収集に
ご協力ください

北松北部クリーンセンターでは、「生ごみ汚泥堆肥」の原料となる生ごみの搬入量が減少しています。このままでは、堆肥生産に支障をきたします。生ごみの分別収集に皆さんのご協力をお願いします。

★生ごみの出し方

- ①生ごみは、専用の指定袋を利用してください（生分解性なので、土にもどります。そのまま使えて便利です）。
- ②事業系の生ごみは、バケツ等で直接搬入してかまいません（料金は普通のごみの5分の1です）。
- ③燃えるごみとして出さないでくだ

松浦市勤労青少年ホームを
利用しませんか

勤労青少年ホームは、各種団体・グループ・サークルの会議、打ち合わせ、練習の場所として下記部屋を開放しています。

また、華道（500円／1回）・茶道（300円／1回）などの講座も開設しています。

施設内容	収容人員
講習室	50人程度
調理室	10人程度
娯楽談話室	15人程度
談話室（和室）	8人程度

- 場所 松浦スポーツセンター横
- 開館日 月～金（土・日・祝日は休館）
- 開館時間 午後1時～午後9時
- 問合せ先 松浦市勤労青少年ホーム
☎ 0956-72-3193
（午後1時～午後9時）

さい（新聞紙等には包まない）。
★堆肥を希望する人には有料で配布しています。

10キログラム入り1袋 70円 20キログラム入り1袋 110円 ※運搬を希望する場合は、別途運搬手数料が必要です。

申込先 田平土地改良区（田平町）
☎ 0950-57-3410 問合せ先 北松北部クリーンセンター ☎ 0950-26-1300

法律相談センターを

開設します

長崎県弁護士会による法律相談センターを次のとおり開設します。相談する人は、事前に電話で予約してください。

日時 4月28日（金）午後1時～4時
場所 文化会館 料金 30分ごとに5000円 予約・問合せ先 長崎県弁護士会佐世保支部 0956-22-9404

花 祭

舞台は、星鹿の浄土寺

作・演出 岡部耕大

- 日時 4月30日（日）
開場午後6時 開演午後6時30分
- 場所 文化会館ゆめホール
- 料金（全席自由） 大人2,000円（当日2,500円）
高校生以下1,000円（当日1,500円）
- 入場券取扱先 教育委員会、教育委員会福島分室・鷹島分室、きらきら21、文化会館、各市立公民館、上志佐支所
- 問合せ先 文化会館 ☎ 0956-72-5758



市民の伝言板

このぼりを収集しています

ご家庭で不要になったこのぼりを一斉に泳がせてみませんか？

松浦商工会議所調川支部では、「元氣な街づくり」を目指し、毎年5月の節句の時期（4月9日～5月6日）に調川川河口にたくさんこのぼりを泳がせ、市民の皆さんに楽しんでもらっています。このぼりを無償で譲っていただける人は、次の収集所までの持参をよろしく願います。

収集所 各市立公民館 収集期限 5月31日（水）問合せ先 松浦商工会議所 ☎0956-72-2151



バドミントン大会に

参加しませんか

「第14回松浦市バドミントン協会会長杯」を開催します。

日時 4月30日（日）午前9時～
会場 松浦スポーツセンター 出場資格 市内在住者または市内勤務者、クラブ所属者※未登録者の登録は当日行います（登録費1000円）。参加費 登録者1000円 高校生500円 申込方法 スポーツセンターの中央掲示板に設置してある箱に、備え付けの申込書に記入の上投函してください（FAX可）。申込期限 4月24日（日）問合せ先 川本 ☎0956-74-0313 FAX 0956-74-0347

鷹島ちびっこまつり

開催日 5月4日（木）催し YOSAKOI 踊り 会場 問合せ先 鷹島モンゴル村 ☎0955-48-2331

阿翁浦和船競漕

開催日 5月5日（金）会場 阿翁浦漁港内 問合せ先 阿翁浦和船競漕保存会 ☎0955-48-2911

ふくしま桜春祭り

日時 4月8日（土）午後2時～午後4時 4月9日（日）午前10時～午後4時 会場 大山公園 内容 文化団体有志出演披露、カラオケ大会 問合せ先 福島YOKA隊・吉

ふくしまハーブフェスタ

香り豊かなハーブで心と体のリフレッシュを図りながら、ハーブ製品の手作り体験、花当てオリエンテーリング、抽選会やゲームを楽しむことができます。

開催日 5月3日（水）～5日（金）
会場 蛙鼻公園 問合せ先 蛙鼻公園管理事務所 ☎0955-47-3085

「認知症の家族を抱える介護者の会」を紹介します

毎月定例で『認知症の家族を抱える介護者の会』を開催しています。日ごろの介護の悩みを打ち明けたり、介護についてアドバイスをしあったりと、介護者同士だから気軽に話せる「やすらぎの場」となっています。2月には、ある会員の「毎日妻に何を食べさせたらいいかわからん」という言葉から、介護者のための食事作りを学ぼうと、調理実習を行いました。介護の悩みは、ひとりで抱えず、みんなで分かちあえればと思い、活動しています。気軽にご参加ください。

- 日時 毎月第1月曜日 午後1時30分～3時30分
- 場所 きらきら21 研修室2
- 問合せ先 認知症の家族を抱える介護者の会 代表 三谷恭平 ☎0956-72-1970



こんにちは 主任児童委員です



主任児童委員は、児童福祉に関する事を専門に担当していて、「子どもと子育て家庭を支援する」活動を行っています。民生児童委員の中から指名され、市内に12人（各地区2人ずつ）配置されています。

子育ての不安やしつけの悩みなど「誰かに話してみたい」と思ったら、気軽にご相談ください。秘密は固く守られます。

○問合せ先 松浦市民生児童委員協議会事務局（社会福祉センター内）☎0956-72-0788

今福町で音楽祭

「平成 17 年度一人暮らしのお年寄り・高齢者との昼食会・今福町民音楽祭」（今福地区社会福祉協議会と今福公民館の共催）が2月24日、今福公民館で行われました。

音楽などを通して、世代間交流を深めようと毎年開催されています。

今福保育所園児や今福小・中学校の児童、コミセンや公民館利用者らが遊戯や合唱などを披露。今福保育所の園児は、炭坑節でお年寄りの中を練り歩き、会場はにぎわいました。

また、今福町婦人団体連絡協議会の手作り弁当も振る舞われ、参加したお年寄り約80人は楽しい一日を過ごしました。



まちの話題



みんなで育てた ブロッコリーの収穫体験

大崎小学校の1、2年生が3月2日、同校の畑でブロッコリーの収穫体験を行いました。

生活科の学習の一環として、季節ごとの野菜を栽培しています。昨年9月に松浦青年農業者会（松本康明会長）からブロッコリーの苗約80本をもらい、植え付けから水やりや雑草取りの世話を続けてきました。

収穫には同会のメンバーも応援に駆けつけ、児童らは、みんなで育てたブロッコリーを、包丁で切り離して収穫しました。

2年生の泊千里香さんは「毎日、色や大きさが少しずつ変わるのが楽しみでした。大きいブロッコリーが取れてうれしいです」と話してくれました。収穫を終え、さっそく試食会を開き、取れたてのブロッコリーをみんな笑顔でほお張っていました。



災害の減少を目指して意見発表

消防職員が業務を通して感じたことや日ごろの考えを発表する消防職員意見発表会が2月21日、松浦地区消防署で行われました。

消防に関する自分の考えや意見、業務への反映などを5分以内で発表する大会で、4月6日に開催される県大会出場者を選考します。

この日は、タバコ火災や子どもの火遊び、地域のつながりなどについて、職員8人が自分の考えや対応などを発表。選考の結果、富野寿朗消防士長と福浦三成消防士長の2人が代表に決定しました。

色とりどりのつばきにつつまれ

—第35回福島つばき祭り—

第35回福島つばき祭りが3月4日と5日の2日間、福島総合運動公園武道館で開催されました。

福島つばき会と福島町観光協会の共催で毎年開催されているもので、今年もつばき苗の販売やつばきの盆栽展示、小・中学生のつばきを題材にした絵画などの作品が展示され、会場を訪れた観客を楽しませました。

園芸指導は、佐木茂会長がつばきの植え方や手入れの方法などを説明を交えながら実演し、訪れた人は「ていねいな説明で分かりやすかったです」と話していました。

また、会場の外では特産品販売や食事コーナーが設置され、多くの人でにぎわいました。



地元住民が笛吹ダムを見学

多目的ダムとして建設が進む笛吹ダムで3月11日、笛吹地区、横辺田地区の住民を対象に見学会が開かれました。

この日は両地区から約70人の住民が参加。県職員からダム施設の説明を受け、湖底やダム堤体内部の施設を見学しました。湖底からの見学は今回で最後となるため、参加者らは湖底に残る棚田や石積みなどを見ながら、工事前の様子を語り合ったりカメラに収めたりしていました。

笛吹ダムは総貯水容量2百1万立方メートル。3月1日には試験的に水をためる湛水試験が始まり、約一年かけて最高水位までため、漏水がないかなど安全性を確認します。

「輪っかもん」が清掃活動

上志佐青年会「輪っかもん」（吉原智則会長）のメンバーが3月19日、上志佐地区の清掃活動を行いました。

同会は、20代の上志佐地区などの8人で、昨年11月に発足。地域活性化のために何かできないかと、今年1月から毎月1回地区内の清掃活動を行っています。名前は「若い者」の方言と、「輪」を大切にしたいという会の方針からつけられたものです。

この日は、上志佐地区の県道脇を清掃。空き缶や弁当の空き容器、また不法投棄された廃タイヤやエアコンなど、軽トラック2台分を約3時間かけて回収しました。

吉原会長は「毎月の清掃活動のほか、地区での夏祭りも地域住民と一緒に盛り上げていきたいと思っています。また、一緒に活動してくれるメンバーも募集しています」と話していました。



「交通安全を呼びかけます！」

—大崎交通少年団入退団式—

大崎小学校の4年生から6年生の児童で組織する「大崎交通少年団」の入退団式が2月22日、同小体育館で行われました。

式では、退団する6年生11人を代表して白石幸勲くんが「さまざまな活動を通して、いろいろな人とかわることができてよかったです。今後も交通少年団の活動を頑張ってください」とあいさつ。入団する3年生12人を代表して濱野美穂さんが入団のことは述べました。

また、今福小では23日に、志佐小では27日に入退団式が行われました。

とき

vol.3

旬しゅんの人

「土谷棚田の火祭り」が 部門賞受賞

— 第10回ふるさとイベント大賞 —

第10回ふるさとイベント大賞(財団法人 地域活性化センター主催)で、「土谷棚田の火祭り」が産業・観光部門賞を受賞し、3月7日の表彰式(東京都)で表彰を受けました。

地域の特性を生かして行われたイベントを表彰するもので、全国から126団体の応募があり、大賞1団体、優秀賞2団体、部門賞に5団体が選ばれました。

土谷棚田の火祭りは、土谷棚田保存会が中心となつて、毎年5月に実施されています。全国棚田百選の土谷棚田のあぜ道に、約2000本のたいまつをともし、棚田の美しさをアピール。昨年の火祭りには、県内外から約2000人が訪れました。

永田恵会長(写真前列右)は、「風光明媚な土谷棚田を活用し、地域活性化につながるイベント」として3年前から火祭りを始めました。今回の受賞は大変光栄

なことで、火祭り

にかかわるみんなの大きな励みになったと思います。

今年5月6日に火祭りを開催するほか、4月29日には田植え体験を予定しています。火祭りの美しく幻想的な光景、田植え体験や棚田散策を通じて、多くの人に棚田の良さを理解してもらい、地域の活性化につなげていきたいです」と話していました。



土谷棚田保存会の皆さん

第4回土谷棚田の火祭り

- 日時 5月6日(土) 午後7時点火
 - 会場 土谷棚田周辺(駐車場は福島港周辺)
 - 主催・問合せ先 土谷棚田保存会
☎ 0955-47-3111 (福島支所地域振興課内)
- ※会場周辺は交通規制が行われるため駐車できません。駐車場と会場を結ぶシャトルバスを運行しますのでご利用ください。



昨年の土谷棚田の火祭りの様子

交通安全功劳県知事表彰受賞

交通安全の保持や啓発活動に功績があった人に対し贈られる交通安全功劳の表彰式（長崎県交通安全推進県民協議会主催）が2月17日、長崎市で行われ、交通指導員の大串徳安さん（福島・伊万里釜）と田口好光さん（志佐・西山）が、交通安全功劳県知事表彰を受賞しました。

大串さんは、昭和53年から現在まで交通指導員として、毎週月曜日の街頭指導や各種イベントへの自主的な協力を行われています。

田口さんは、平成10年から8年間松浦地区交通安全協会の会長として、交通事故防止や安全運転啓発に努められました。



大串徳安さん



田口好光さん

交通安全図画・作文で優秀賞

交通安全に関する図画・作文が県内の小中高生から募集（長崎県交通安全推進県民協議会主催）され、審査の結果、作文の部で御厨中2年の園邊優君（御厨・大崎下）が、図画の部で志佐中2年の金替瑞紀さん（志佐・里田原2）がそれぞれ県教育長賞（優秀賞）を受賞し、2月17日、長崎市で表彰式が行われました。

長崎県内から図画683点、作文63作品が応募された中で、学年別にそれぞれ知事賞（最優秀賞）と教育長賞（優秀賞）それぞれ1点と優秀作品が選ばれました。

また、志佐中2年の前田愛理さん（志佐・西山）が図画の部で入選作品に選ばれました。



園邊優君



金替瑞紀さん

鷹島俳句会が合同句集「島水仙」を発刊

鷹島俳句会がこのほど合同句集「島水仙」を発刊しました。

同会は、昭和42年に発足し、一時活動が中断していたものの現在まで活動を続けています。現在は5人の会員で、月1回俳句の学習活動を行っています。

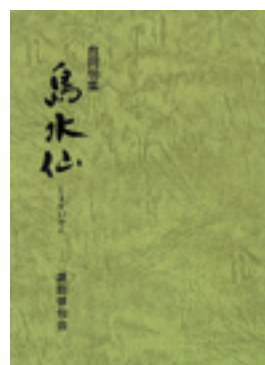
「島水仙」はA5版、100頁。会員や元会員、指導者の坂口寛さんなど12人の作品、440句が掲載されています。

会長の小田富美子さん（写真前列右）は、「市町村合併を一つの節目として、これまでの歩みを振り返る意味でこの合同句集を発刊しました。坂口さんにも企画など協力をしていただき、『島水仙』が無事完成しとてもうれしく思います。

鷹島は、風景もすばらしく、人情も厚い島。年齢を重ねるごとにその思いが強くなり、それらを表現した俳句の句集を作ること、あらためて鷹島のよさを実感しています。これからも鷹島のよさを俳句で表現していきたいと思います。

また、俳句に興味のある方は参加してみませんか。もっと多くの方が俳句に親しめればと思います」

「島水仙」は、市立図書館でご覧になれます。



鷹島俳句会の皆さん

卒業 50 周年を記念して図書券を寄付

上志佐中学校（昭和 31 年に志佐中学校と統合）を卒業してから 50 周年の記念として、昭和 28 年度上志佐小学校卒業生有志一同から上志佐小学校に図書券が贈られました。

2 月に広島で開催された同窓会の参加者で、母校のために何かできないかと企画したものです。

2 月 23 日、卒業生 5 人が同校を訪れ、代表の村田寛典さん（志佐・笛吹）から、同校 6 年の百枝洋平君と牧地香奈子さんに図書券が手渡されました。2 人は「ありがとうございます。本が好きなので、これからたくさん本を読みます」とお礼を述べました。



中学生車いすを寄贈

市内の 5 校（志佐・御厨・調川・今福・青島）の中学生が 3 月 7 日、星鹿町の介護老人保健施設よかところに車いす 2 台を寄贈しました。

毎年、家庭から出るアルミ缶を生徒が協力して回収し、それらの収益金で車いすを購入し寄贈しています。今年は、5 校で 1,880 本のアルミ缶を回収しました。

この日は、各中学校の代表者が自分たちの取り組みを発表し、金子育未君（今福中）と石橋まいさん（志佐中）から車いすが渡されました。

生徒は自分たちの取り組みについて、「自分たちが集めたアルミ缶が、車いすになる事をうれしく思います。大切に使うことが、自分たちのボランティア活動の励みになります」と話していました。



ピアノとサックスの音色に触れる

ピアノ奏者の白石光隆さんとサクソフォン奏者の田中靖人さんが 2 月 16、17 日、調川中や今福中などで演奏会を行いました。

18 日に文化会館で開催される「TALKING&CLASSIC」に出演する 2 人が、4 カ所で行ったものです。

17 日の今福中（写真）では、ピアノとサクソフォンについての話をおりませながら 5 曲が披露され、参加した 2 年生 37 人は、美しい音色に触れました。

大友志穂さんは「ピアノの力強い音ややわらかい音に感動しました」と話してくれました。

また、18 日の文化会館での公演では松浦ウィンドオーケストラが共演しました。



サッカーで交流

第 5 回松浦 FC フェスティバル（松浦ジュニアユースフットボールクラブ主催）が 3 月 5 日、今福小学校グラウンドで開催されました。

サッカーを楽しみながら交流を深め、基礎を身につけることを目的に毎年開催されています。

この日は市内外から小学生で構成された 6 チームが参加し、熱戦を繰り広げました。また、国見高校サッカー部で活躍した江島直毅さん（18 歳、今福町出身）も応援に駆けつけ「サッカーを楽しむことが一番の上達法」と選手に声援を送っていました。

上位の結果は次のとおりです。

優勝 志佐 FC

準優勝 松浦 IT（A チーム）

3 位 歌浦サッカークラブ、松浦 IT（B チーム）



※アウトリーチ

芸術に接する機会や関心がない人々に対し、芸術への興味と関心をもたせるために芸術家・企画者側から働きかけるさまざまな活動。

火災予防運動(3/1～7)にちなんだ行事開催

2/24 少年消防クラブのポスター選考(松浦地区消防署)

管内の11少年消防クラブから作品を募集し、10クラブ34点の応募がありました。その中から、深月少年消防クラブ(平戸市)の作品が最優秀賞に選ばれ、市役所ロビーに展示されました(写真左)。

消防クラブのポスター選考の結果は次のとおりです(市内のみ)。

【優秀賞】中通少年消防クラブ、青島少年消防クラブ、志佐ジュニア消防クラブ、上志佐ジュニア消防クラブ

2/28・3/1 防火パレード(市内全域)

消防団員が、保育園や幼稚園などを訪れ、風船を配りながら、火災予防を呼びかけてまわりました(写真右、志佐保育所)。



ひと足早い春の香りのプレゼント

2月16日、(株)九州電力平戸営業所からスズラン18鉢が寄贈されました。

電気のPRのために同社の自然資源研究センターの電熱温床で栽培されたもので、毎年、官公署や学校・福祉施設などへ寄贈されています。

この日は、川久保梅之^{うめのみさ}所長が「皆さんにひと足早い春の香りを楽しんでいただきたいです」と友広郁洋市長に手渡し、市役所の各窓口でかわいらしい花を咲かせています。

また、17日には同電力伊万里営業所から3鉢のスズランが寄贈されました。



フィジーから鷹島支所へお礼の手紙

南太平洋・フィジー諸島共和国の子どもたちから、鷹島支所へ手紙が届きました。

昨年12月に、青年海外協力隊員としてフィジー諸島で活動している鷹島町出身の宮本奈穂^{なほ}さんから、「現地の学校で不足している学用品を支援したい」と旧鷹島町役場に協力依頼がありました。宮本さんは、「発展途上で支援を求めている人とともに暮らし、自分にできる精一杯の手助けをしたい」と、昨年7月からフィジー諸島のサブサブという町の養護学校で活動しています。

宮本さん(後列左から2番目)と看護学校の先生



旧鷹島町役場の職員らに呼びかけたところ、今後必要としないものや、個人の持ち物で使わなくなった鉛筆など数百点の学用品が集まり、宮本さんを通じてフィジー諸島の養護学校へ送られました。

現地の学校では、日本では当たり前のように使っている文房具も、フィジーでは持っていない子どもがほとんど。手紙には、「たくさんの文房具を送ってもらってありがとうございました」などと書いてあり、思い思いの絵が描かれていました。

呼びかけを行った職員は、「感謝の手紙が届いたことで、あらためてものを大切にする気持ちを忘れていた自分に気づかされました。使わずに忘れていたもの、見落としていた品物が、このようなかたちで喜んでもらえてよかったです」と話していました。

届いた手紙は、鷹島支所に掲示しています。



松浦地区消防署が優勝

—第1回松浦市民駅伝大会—

第1回松浦市民駅伝大会が2月26日、市民運動公園前をスタートし、市役所前をゴールとする8区間、24.2^キのコースで行われました。

今大会には、一般の部に28チーム中学の部に6チームが参加。選手は、沿道からの声援を受けながら、健脚を競いました。新松浦市となり1回目の今大会は、松浦地区消防署が優勝しました。

結果は次のとおりです（敬称略）。

〔一般の部〕

〔総合成績〕

- ①松浦地区消防署 1時間24分54秒
- ②ふくしまつばき 1時間25分44秒
- ③よせあつめ 1時間27分12秒
- ④クロネコ ⑤中興化成工業 ⑥小船クラブ ⑦鷹島走ろう会 ⑧アリガトウ ⑨J・P O W E R ⑩今福小学校 P T A ⑪ J A な が さ き 西 海 ⑫ミトコンドリア ⑬福島陸友会 ⑭松浦衛生事業協同組合 ⑮九電松浦発電所 ⑯先生 ⑰九電産業 ⑱陸援隊 ⑲どんぐり ⑳北久 ㉑松浦幼稚園 ㉒菊地病院 ㉓今福中 P T A ㉔チーム J P さく ㉕志佐小 P T

A 走らんば ㉖郵便局 R C ㉗市役所野球部 ㉘市役所青年部

〔区間賞〕

- ▽1区（3・9^キ） 福井雄一（ふくしまつばき） 12分53秒
- ▽2区（4・8^キ） 山本大輔（クロネコ） 14分41秒
- ▽3区（1・9^キ） 小田 徹（松浦地区消防署） 6分14秒
- ▽4区（2・4^キ） 福永勝仁（松浦地区消防署） 7分46秒
- ▽5区（2・7^キ） 濱村成紀（松浦地区消防署、大原辰蔵（小船クラブ）） 9分57秒
- ▽6区（2・0^キ） 池田秀雄（先生） 6分34秒
- ▽7区（3・3^キ） 松瀬 携（鷹島走ろう会） 11分1秒
- ▽8区（3・2^キ） 尾下竜博（九電産業） 10分42秒

〔中学の部〕

〔総合成績〕

- ①今福中学校 1時間24分18秒
- ②志佐中駅伝部 1時間26分21秒
- ③御厨中学校 A 1時間26分47秒
- ④調川中学校 ⑤御厨中学校 B ⑥今福中野球部

〔区間賞〕（一般の部と同^キ数）

- ▽1区 山田千鉄（志佐中駅伝部） 13分4秒
- ▽2区 川原光泰（今福中） 16分47秒
- ▽3区 山崎徹也（御厨中学校 A） 6分17秒
- ▽4区 川原忠貞（今福中） 8分13秒
- ▽5区 宮本 徹（志佐中駅伝部） 9分38秒
- ▽6区 寺澤慶太（今福中） 6分25秒
- ▽7区 澤田 鍊（志佐中駅伝部） 10分56秒
- ▽8区 佐伯拓馬（今福中） 10分40秒

スポーツ安全保険に加入しませんか

- ◆対象者
- ◆掛金および保険金額
- ◆問合せ先

スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動などを行う5人以上の団体・グループ
下記のとおり
教育委員会生涯学習課

平成18年度スポーツ安全保険の掛金・補償内容一覧

団体	対 象	区分	新掛金	障害保険				賠償責任保険 (補償限度額)	共済 見舞金
				死 亡	後遺障害 (最高)	入 院	通院 (日額)		
子どもの団体	中学生以下の子ども スポーツ活動を行わない大人 (スポーツの指導、審判を除く)	A	500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	大人の団体と同補償	突然死
	中学生以下の子ども (下段は、個人活動中の事故の 場合の補償額)	A W	1,050円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	大人の団体の補償に身体、 財物賠償合算で1事故 500万円を加算	160万円
				100万円	150万円	1,000円	500円	身体、財物賠償合算で1事故 500万円 (免責1,000円)	対象外
子どものスポーツ団体の指導者 等 (Cにも加入可)	A C	1,000円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	大人の団体と同補償	突然死 160万円	
大人の団体	文化活動、ボランティア活動および 地域活動 (スポーツの指導、審判 およびダンス踊り等を除く)	A	500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人 1億円 1事故 5億円	突然死 160万円
	老人クラブ	B	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円	財物賠償 1事故 500万円 (免責1,000円)	
	スポーツ活動 (野外活動、身体運動を含む)	C	1,500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	危険度の高いスポーツ活動	D	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

松浦の地質

松浦市の地質は、第三紀層を基盤として、その上に玄武岩が広く堆積している地質構造をしています。この玄武岩は北松浦半島を中心に西北九州に広く分布する松浦玄武岩あるいは西岳玄武岩類と称されるものの一部で、典型的な溶岩台地を形成しています。

この玄武岩は約8百万年前に伊万里南方を中心として噴出した火山であったと思われま

すが、佐賀県境の国見山系が標高700メートル級と高く北および西側に行くにしたがって段々と低くなっています。福島町では弁天島と黒瀬に分布する第三紀層の地層にこの玄武岩が貫入した状況が見られます。同じく榎崎でも第三紀層の砂岩を横切つて玄武岩岩脈の先に直径約15メートルの玄武岩のこぶ状の盛り上がりがあり珍しい形をしています。星鹿半島の津崎や西木場の波津崎では玄武岩の柱が海面に向かって垂直にそびえ立っています。これを柱状節理と呼んでおり、断面は五角形から六角形の多角形をしています。



波津崎の柱状節理

教育委員会提供



コラム

ウォルター・スミス (アメリカ出身)

Do you know who you're talking to?
誰に話しているかわかっていますか?

日本では、基本的に2つのタイプの外国人がいます。それは、「訪問者」と「在住者」です。

「訪問者」は休暇、または日本の文化を学ぶために数日または数週間日本に来る人たちで、たいてい日本についてあまり知らないけれど、日本の文化である寿司、刺身、相撲について知りたがっています。また彼らは箸の講義も喜ぶでしょう。「訪問者」に対する良い質問は「Do you know~? (〜を知っていますか)」または「How long will you stay in Japan? (どのくらい日本に滞在します

か)」です。

私のような「在住者」は、もう数年日本にいます。私たちはまだいくつか苦勞していることもありますが、基本的なことはずいぶん前に習得しています。(私はもう10年ほど箸を使っています)。「在住者」に良い質問は、初めて会った他の日本人にするような質問です。私たちは日本についてかなり良く知っていますし、皆さんにとっては、人としての興味を起こさせると思います。

私が初めて会う人には、仕事「What do you do? (仕事は何ですか)」、趣味「What do you like to do? (何をすることが好きですか)」そして家族「How's your family? (家族の皆さんはどうですか)」について話したいです。

あなたが話しているのは「訪問者」ですか、それとも「在住者」ですか。判断するために良い質問が「How long have you been in Japan? (日本にどのくらいいますか)」です。





学生納付特例制度・若年者納付猶予制度

現在、国民年金保険料を学生納付特例制度・若年者納付猶予制度により猶予されている人で、平成18年度も引続き希望する場合は、再度申請手続きが必要となります。申請を忘れないためにも、早めにご手続きをしましょう。手続きは、市役所保健年金課国保年金係または各支所となります。

※学生の人は、学生証または在学証明書が必要になります。

国民年金制度がかわります

◆平成18年度の年金受給額は0.3%引き下げとなります。

平成17年の年平均の全国消費者物価指数が、前年度よりマイナス0.3%であったため、平成18年度の年金受給額は、前年度より0.3%少ない額となります。

満額の老齢基礎年金の場合は、月額200円ほど引き下げとなります。

平成18年4月分から新しい年金受給額となりますので、6月の定期支払（4月および5月分）から年金受給額が変わります。

◆障害基礎年金と老齢厚生年金等を併せて受給できるようになります。

障害を持ちながら働いたことが評価される仕組みとして、平成18年度から65歳以上の人は、障害基礎年金と老齢厚生年金、障害基礎年金と遺族厚生年金の組み合わせについて併せて受給（併給）することができるようになります。

なお、併給を申請する場合は、選択申出書を提出する必要があります。

○問合せ・照会先

年金ダイヤル（年金被保険者） ☎ 0570-05-1165

年金ダイヤル（年金受給者） ☎ 0570-07-1165

佐世保社会保険事務所 ☎ 0956-34-1141・市役所保健年金課国保年金係



麻しんと風しんの予防接種のワクチンが変更になりました

保健センター ☎ 0956-72-4747

4月1日から、麻しんと風しんの対象者とワクチンが下記のとおり変更になりました。

【平成18年4月1日～】

麻しんと風しんのワクチンが混合され1本のワクチンになり、混合ワクチンを2回接種。

〈対象者〉

- 1回目＝生後12か月から生後24か月未満
- 2回目＝5歳以上7歳未満で、小学校就学の1年前から小学校就学の前日までの間

【平成18年3月31日まで】

麻しんワクチンと風しんワクチンを各1回接種

〈対象者〉生後12か月から生後90か月未満

*平成18年4月1日現在で、麻しん、風しんのどちらか一つだけを接種し、どちらかのワクチン接種が出来ていない2歳未満の子どもさんに限り、受けていないワ

クチンの接種が公費で受けられます。個別接種医療機関に直接申し込んでください。

【母子健康手帳の交付】

平成18年4月より、松浦市保健センターでは、毎月1回午後1時から母子手帳の交付をし、午後1時30分からのマタニティ教室に参加できるようになりました。また、これまで同様、随時交付もしていきますが、保健師や栄養士が不在の場合もありますので、相談のある人は月1回の交付日をご利用ください。

【離乳食教室】

平成18年4月より、松浦地区で、生後6か月から7か月児を対象に離乳食教室を開始します。福島地区・鷹島地区でもこれまで同様実施していきます。

なお、対象者には個別通知でお知らせしますのでぜひご参加ください。

安全で安心な 長崎県産牛肉

市場に流通している牛肉は安全ですので、安心して召し上がってください。

★本県でBSEに感染した牛（14歳、黒毛和種、雌）は、肉・内臓等すべて焼却処分されたので、市場に回ることはありません。

★これまで、と畜場に搬入されたすべての牛に対して、BSE検査を実施しています。

★通常の牛についても特定危険部位といわれる脳・脊髄等はすべて焼却するしくみが確立して、安全な牛肉のみが流通していますので、安心して召し上がってください。

○問合せ先 農林課

温かい心ありがとうございます

一般寄付

- 松浦市へ図書券
- 池 潤様（名古屋市）
- 松浦市へ金一封
- 佐藤ナツ子様（福岡県小竹町）
- 今福公民館へ図書
- 今福地区社会福祉協議会様
- 松浦市社会福祉協議会福島支所へ金一封
- 優愛の会 母袋里恵様（福・伊万里釜）

香典返し・忌明・寄付

- 上志佐小学校へ金一封
- 松本 修様（志・笛吹）
- 亡長男 敬一様
- 井吉 尚子様（平戸市）
- 亡夫 利徳様
- 田代小学校へ金一封
- 前田 洋子様（御・田代）
- 亡夫 一義様
- 松浦市社会福祉協議会へ金一封
- 原田 研子様（調・雇進）
- 亡母 京子様
- 松本 フミエ様（志・里2）
- 亡夫 喜一様
- 久保 秀信様（御・寺ノ尾上）
- 亡弟 孝巳様
- 【福島支所】
- 吉田 延恵様（今・北東1）
- 亡夫 次夫様
- 小野 英治様（福・日の浦）
- 茂子様
- 滝元 勝様（福・土谷）
- 亡母 ツネヨ様
- 山本 貞子様（福・福岡）
- 亡夫 善香様
- 山田 徳義様（福・浅谷）
- 亡母 スエ様
- 【鷹島支所】
- 近藤 糸市様（鷹・神崎）
- 亡父 恒市様
- 大山 恒市様（鷹・里）
- 亡妹 ナツエ様
- 小田 力様（鷹・船唐津）
- 亡妻 ヒサエ様
- 松川 隆則様（鷹・中通）
- 亡二男 資様
- 松尾 キム子様（鷹・阿翁）
- 亡夫 恒一様
- 調川地区社会福祉協議会へ金一封
- 原田 研一様（調・雇進）
- 亡母 京子様
- 福永 和代様（調・中興）
- 亡夫 聰様
- 三木 健治様（調・白井）
- 亡父 勘助様
- 御厨・星鹿地区社会福祉協議会へ金一封
- 力武 利子様（御・泉）
- 亡夫 翼様
- 吉村 徹夫様（星・下田）
- 亡妻 ケサ様
- 朝永 眞喜様（御・川内）
- 亡夫 栄様
- 酒井 恵様（御・大崎下）
- 亡父 卓夫様

戸籍だより

2月19日～3月21日（敬称略）

結婚 おめでとう

- 浦上 義洋 志・栢ノ木
- （俵屋） 恵美 平戸市
- 邊 盛嗣 今・木場
- 竹本 晶 調・上免
- 村田 雄希 今・人柱
- 山口 千春 今・西海市
- 千田 和之 志・下高野
- 岩本 真紀 志・下高野
- 荒木 大輔 星・川原辺田
- （長谷） 麻衣子 志・上高野
- 平野 烈 志・栢ノ木
- （藤永） 博美 小佐々町
- 山下 浩文 鷹・里
- （近藤） 公香 鷹・神崎
- （大串） 輝美 福・浅谷
- 前田 志穂里 福・原

お誕生 おめでとう

- 梶原 翔（邦仁） 調・白井
- 渡島 乃介（寛記） 志・下高野
- 深見 優（乾雄） 御・郭公尾
- 濱道 優（高志） 御・西木場
- （碧） 人（賢一） 御・前田
- （主） 美（政志） 御・雇進
- （優） 実（忍） 今・北東1
- （幸） 輝（学） 志・下高野
- （愛） 結（司） 御・御厨地
- （寛） 太（隆太郎） 志・大浜東
- 川本 遥陽（孝二） 福・鍋串

ごめい福を お祈りいたします

- 近藤 恒市（83歳） 鷹・神崎 2/5届
- 桑田 末美（50歳） 鷹・三里 2/11届
- 田中千壽嘉（83歳） 今・滑栄
- 坂本 作市（94歳） 今・仏坂
- 奥野 寛（79歳） 今・飛島
- 高田 良一（78歳） 今・飛島
- 濱本 全章（87歳） 今・恵比須町
- 川内 定一（93歳） 今・元町
- 佐々木文次（81歳） 調・七区ノ二
- 滝元ツネヨ（80歳） 福・土谷
- 新井 キミ（99歳） 御・青山荘
- 白石 満之（70歳） 星・川原辺田
- 石川清三郎（75歳） 志・西山
- 光岡フサエ（84歳） 福・播磨釜
- 田中やエ子（81歳） 志・愛光園
- 山田 スエ（94歳） 福・浅谷
- 川原 龍一（87歳） 御・郭公尾
- 吉田 春市（98歳） 星・海光園
- 竹中初五郎（93歳） 星・青島
- 渡口 文雄（77歳） 今・木場
- 森田 松美（85歳） 志・稗木場
- 松尾 恒一（75歳） 鷹・阿翁
- 内田 照子（73歳） 御・西木場
- 大山 キミ（83歳） 福・郭公尾
- 赤石 定一（81歳） 御・郭公尾
- 川原 忠（77歳） 今・恵比須町
- 永谷フジエ（92歳） 御・駒通
- 大矢 政子（93歳） 鷹・阿翁
- 森 政子（86歳） 鷹・阿翁
- 福田 明子（54歳） 志・雇進
- 前田 忠夫（87歳） 志・白柱
- 渡口 榮（72歳） 今・人柱
- 佐藤 順子（68歳） 星・北久保
- 松田 幸子（73歳） 御・田代

行政区（施設名）の前は、各町名の一文字を表記
（例）志佐町○○の行政区の場合 志・○○



市報 まつうら 4月号

No. 4

平成18年4月1日発行

編集発行／松浦市役所企画振興課
〒859-4598 長崎県松浦市志佐町里免365番地 ☎0956(72)1111 FAX(72)1115
福島町からは…47-3011 鷹島町からは…48-3011
ホームページアドレス <http://www.city-matsura.jp> Eメールアドレス matsura@city-matsura.jp
印刷／株式会社三光

松浦への
思いを語る

リレーエッセー③

吉澤 紀美江さん
(鷹島・阿翁浦、28)



○現在の仕事

鷹島町の新松浦漁業協同組合・本所に勤務しています。総務課管理係として販売・購買部門のデータのコンピューターへの入力および管理が主な業務で、その他に漁船登録・漁業許可の県への申請書作成なども担当しています。

○松浦市の好きな場所・特長など

海に囲まれている鷹島ではとれたての新鮮な魚が食べられます。仕事柄、漁師の方からいただけることも…。島という事で何かと不便な所もありますが、鷹島大橋もあと数年で完成予定です。それまではフェリーで、という事になります。島外の皆さんぜひ鷹島に遊びに来てください。

○筆者が現在頑張っていること・アピールポイントなど

昨年12月に4つの漁協が合併し、「新松浦漁協」がスタートしました。鷹島が本部ということもあり、さまざまな面で忙しくなりそうです。4月からは新年度が始まり、年度中には新しいコンピューターシステムが導入の予定です。内容の確認など大変だろーうと思いますが、任された分野は責任を持って頑張っていきたいと思っています。

今回は…
吉澤さんから、吉住正和さん(阿翁浦)にバトンタッチ!

人口

平成18年3月1日現在

人口	27,758
	(-31)
男	13,240
	(-20)
女	14,518
	(-11)
世帯数	10,292
	(±0)

編集室から

新松浦市になって、早いもので3カ月がたちました。この間、(きよ)は、「旧1市2町の間に壁ができないように、一体感を持っていきたい」という思いで、仕事やさまざまな活動をしてきています。

しかし、残念なことに最近いろんな場面で壁を感じてしまうことがあります。

新松浦市はまだスタートしたばかりです。互いの郷土愛や個性などは大切にしつつ、互いに認め合い、協力し合い、新松浦市らしい新しい道を切り開いていく。難しいことかもしれませんが、実行していきたいと思えます。市民みんなが「合併してよかった」と思えるように…。

(きよ)

福岡まで1時間！ 西九州自動車道 早期完成



この広報紙は環境と自然保護のため再生紙(100%)を使用しています。